【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公開番号】特開2014-153568(P2014-153568A)
【公開日】平成26年8月25日(2014.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2014-045
【出願番号】特願2013-23774(P2013-23774)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/16　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/16
Ｇ０３Ｇ　15/00　５５０

【手続補正書】
【提出日】平成27年4月8日(2015.4.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
非晶性シリコーン変性熱可塑性樹脂と、ポリフェニレンスルフィド樹脂と、導電剤と、を含む樹脂層の単層体で構成、又は前記樹脂層を少なくとも有する２層以上の積層体で構成された管状体。
【請求項２】
前記非晶性シリコーン変性熱可塑性樹脂の配合量が、全樹脂１００質量部に対して、５質量部以上２０質量部以下であり、
前記ポリフェニレンスルフィド樹脂の配合量が、全樹脂１００質量部に対して、８０質量部以上９５質量部以下である請求項１に記載の管状体。
【請求項３】
前記非晶性シリコーン変性熱可塑性樹脂がシリコーン変性ポリエーテルイミド樹脂である請求項１又は２に記載の管状体。
【請求項４】
前記導電剤がカーボンブラックであり、
前記カーボンブラックの配合量が、全樹脂１００質量部に対して、１０質量部以上３０質量部以下である請求項１～３のいずれか１項に記載の管状体。
【請求項５】
前記カーボンブラックの平均一次粒子径が１０ｎｍ以上５０ｎｍ以下である請求項４に記載の管状体。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載の管状体と、前記管状体を張力がかかった状態で掛け渡す複数のロールと、を備え、画像形成装置に対して脱着される管状体ユニット。
【請求項７】
請求項１～５のいずれか１項に記載の管状体からなる中間転写体。
【請求項８】
像保持体と、
前記像保持体の表面を帯電する帯電手段と、

帯電した前記像保持体の表面に潜像を形成する潜像形成手段と、
前記像保持体の表面の潜像をトナーにより現像してトナー像を形成する現像手段と、
前記像保持体の表面に形成された前記トナー像が転写される中間転写体であって、請求項７に記載の中間転写体と、
前記像保持体の表面に形成された前記トナー像を前記中間転写体の表面に一次転写する一次転写手段と、
前記中間転写体の表面に転写された前記トナー像を記録媒体に二次転写する二次転写手段と、
前記記録媒体に転写された前記トナー像を定着する定着手段と、
を備えた画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項５に係る発明は、
前記カーボンブラックの平均一次粒子径が１０ｎｍ以上５０ｎｍ以下である請求項４に記載の管状体である。